

「糸島市農力を育む基本計画」に掲げる目標値の進捗状況（令和4年度分）

第1節 多様な担い手の育成確保・産地育成・農業経営の確立

施策（1）多様な担い手の育成と人材活用

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
認定農業者数の減少抑制 (R7推計値350経営体)	372経営体	363経営体	366経営体				362経営体	認定農業者の申請支援	新規申請では、農業を主業とする農業者が他産業従事者並みの生涯所得に相当する年間農業所得、年間労働時間の水準を目標とし、各関係機関に意見照会や本人面談をし認定している。更新申請では、認定期限の約3か月前から更新通知を行い、申請されるまで通知を出し、再認定を促している。 ①新規：12経営体 ②廃止：8経営体 ③市→県認定：1経営体 (R3) 363+①12-②8-③1=(R4) 366経営体	-	農業振興課
								認定農業者連絡協議会の支援	認定農業者で構成される認定農業者連絡協議会へ支援を行うことで、認定農業者への研修、交流、情報共有を通じて質の向上と育成を図っている。 令和4年度は新型コロナウイルスの影響で総会及び研修会の開催はできなかったが、役員視察研修を実施した。 役員視察研修：1回 参加役員：10人		

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
認定新規就農者から認定農業者に認定された人数 (計画期間中累計)	13人	5人	9人				13人	糸島市新規就農者ネットワーク協議会への支援	認定新規就農者から認定農業者に認定された人数 (R3) 5+ (R4) 4=9人 市内で就農している認定新規就農者などを対象に農業経営及び農業技術の向上等を図るため、ネットワークを立ち上げ支援をしている。令和4年度は総会・視察研修等を開催し、会員相互の交流と技術・所得向上につながる活動ができた。 研修会：1回 参加人数：10人 視察：2回 参加人数：①11人 ②15人	50	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農用地のうち認定農業者等に利用集積される農用地の面積割合	57%	58.2%	60.1%				60%	農地中間管理事業	従前のJAによる農地利用円滑化事業により認定農業者への集積が進んでいる。現在は円滑化事業が廃止され、JAに代わって県農地中間管理機構が農地の貸し手から借り受け、中間管理して、地域の意欲ある担い手に貸し付けを行っている。 今後もこの事業を活用することにより認定農業者への集積を加速させていく。 ①認定農業者が耕作する農地面積：2,526ha ②糸島市耕地面積：4,200ha ①÷②×100=60.1%	-	農地政策課 (農業委員会)

施策（2）収益性の高い農業経営の確立と産地育成、スマート農業の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農業就業人口一人当たりの農業産出額	536.5万円	649.6万円					575.6万円	-	農業産出額1,774千万円/農業就業人口2,731人÷649.6万円 ※令和3年度の市町村別農業産出額（推計）は令和5年3月公開各取組による認定農業者等への農地の集積や国県・市の補助事業の活用による機械の導入など、収益性の高い営農に取り組めるよう支援を行う。	-	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
販売金額が年間1,000万円以上の農業経営体数	340経営体						350経営体	—	農林業センサスで集計（次回：令和7年）	—	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
スマート農業機械・施設の導入件数 (累計)	0件	10件	20件				20件	経営持続化支援事業等	経営持続化支援事業で、スマート農業機械を優先的取組とし、導入を加速させた。	40,162	農業振興課

施策（3）新規就農の促進・支援

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
新規就農者数（累計）	13人/年	16人/年	41人/年				64人	—	市と農業委員会、JA糸島、県普及指導センターが連携し、就農希望者の就農相談や就農後の経営相談等を実施し、就農及び定着に取り組んだ。 (R3) 16人+ (R4) 25人=41人 ※新規就農者のうち、市で把握できる新規参入者（利用権の設定により新たに農地を取得し農業経営を開始した者）を報告。 （「新規就農者」については農力を育む基本計画〇用語集P71参照）	—	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農業研修生を受け入れるまちづくり 事業による研修生数（累計）	0人	0人	0人				10人	農業研修生を受け入れるまちづくり事業	JA糸島のいちご・アスパラガス研修制度や福岡県農業大学の研修、雇用就農資金等、農業研修制度が充実してきたため、市の研修事業を活用する就農希望者が減少している。就農相談などを通じて事業の利用が必要な対象者には都度周知を図る。	—	農業振興課

第2節 地域で生産される食料の信頼の確保

施策（1）安全で安心できる農畜産物生産の支援

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
環境保全型農業直接支払事業取組面積	67.06ha	76.19ha	70.91ha				86ha	環境保全型農業直接支払交付金事業	環境に負荷のかからない農業に取り組む農業者団体に対して、慣行農業とのコスト差を、取り組み内容（堆肥の施用や有機農業等）を基に面積に応じて補助する。	6,977	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農薬講習会開催回数	1回/年	1回/年	1回/年				1回/年	—	JA糸島において、班ごとに農薬の適正使用等の講習会を実施している。	—	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
家畜伝染病予防講習会開催回数	1回/年	0回/年	0回/年				1回/年	—	畜産環境保全組合での研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症流行のため研修会の実施は見送り、啓発資料の送付を行った。	—	農業振興課

第3節 生産基盤の維持、保全等による農村が有する多面的な機能の発揮

施策（1）農村集落の活性化

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
「多面的機能支払事業」や「中山間地域等直接支払事業」に取り組む組織数	98集落	98集落	99集落				100集落	中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域と平地との生産コストの差額分を、傾斜と地目（田・畑）を基に面積に応じて補助する制度。協定書に基づいて、中山間地域を守る活動（農道や水路の保全など）に取り組む。 組織数：19組織	41,809	農業振興課
								多面的機能支払交付金事業	農業生産者及び地域住民が一体となって農地や農業用施設等の農村環境を保全する活動に対し、支援を行う。 組織数：80組織	150,175	農地政策課
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
地域が保安全管理する農地割合	77%	77.6%	76.8%				78%	多面的機能支払交付金事業	農業生産者及び地域住民が一体となって農地や農業用施設等の農村環境を保全する活動に対し、支援を行う。 ①多面認定農用地面積3,226ha ②糸島市耕地面積4,200ha ①÷②×100≒76.8%	150,175	農地政策課
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
体験プログラム（農業関連）市内での開催回数	4回	12回	12回				6回	—	糸島キッズファーム事業への事業費一部補助は令和3年度で終了し、自主事業となる。 ①年間体験会9回 ②個別体験会3回 ①+②=12回	—	農業振興課
								令和4年度着地型旅行商品造成事業	体験プログラムの開催回数：0回 魅力ある着地型旅行商品となるようにスキルアップセミナーを2回実施し、約30の観光商品が完成した。（いちご定植体験、タケノコ狩り体験、田植え稲刈り体験など）令和5年度に販売を開始し、体験事業を実施予定。	1,046	ブランド政策課

施策（2）優良農地の保全

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
耕作放棄地の再生利用面積	23.32ha	27.52ha	29.20ha				40ha	耕作放棄地対策事業	農業従事者の高齢化、労働力不足に等により農地の引き受け手がなく、耕作放棄地が増加している。 耕作放棄地の増加に歯止めをかけ、また解消を促進させるため、一定の要件を満たす農業者等に対して定額の補助を行っている。	612	農地政策課 (農業委員会)
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
侵入防止柵の未設置地域での整備延長	466.1km	573.5km	628.8km				922.1km	福岡県鳥獣被害防止総合対策交付金事業	鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、農業者の農作物被害を未然に防止するため、侵入防止柵の配付を行う。 ①ワイヤーメッシュ柵12.1km ②電気柵43.2km (R3) 573.5km+①12.1km+②43.2km= (R4) 628.8km	15,350	農地政策課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
大入地区及び沖田地区ほ場整備面積	Oha	Oha	Oha				53.3ha	経営体育成基盤整備 事業	県営事業にて、農業基盤の整備を一体的に行い、食料自給率の向上及び農業経営の安定を図る。 沖田地区35.2ha、大入地区18.1ha。R5完了予定。	44,400	農地政策課

第4節 農業の資源循環機能の維持及び環境保全

施策（1）環境保全型農業の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
環境保全型農業直接支払事業取組面積 ※再掲	67.06ha	76.19ha	70.91ha				86ha	環境保全型農業直接 支払交付金事業	環境に負荷のかからない農業に取り組む農業者団体に対して、慣行農業とのコスト差を、取り組み内容（堆肥の施用や有機農業等）を基に面積に応じて補助する。	6,977	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
稲わらとたい肥の交換による畜産たい肥施用面積の拡大	57.7ha	69.2ha	91.0ha				60.6ha	耕畜連携資源循環助 成	産地交付金事業において、水田で生産された粗飼料等の供給を受けた家畜由来の堆肥を水田に施肥する取組に助成を行った。	9,084	農業振興課

施策（2）バイオマス利活用取組の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
畜産農家に向けたバイオマスに関するセミナー等の開催数	0回	0回	0回				1回	—	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で研修会等開催できなかった。	-	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
バイオマスを活用したエネルギー創出に取り組む事業所数	0事業所	0事業所	0事業所				2事業所	—	H30.11にバイオマス発電設備整備事業を実施（1事業所）したが、発電機器の不具合により稼働に至っていない。現在、稼働に向けて調整を行っている。	-	農業振興課

第5節 地産地消の推進

施策（1）地域食材の利用促進、地産地消のPR

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市内直売所の売上額	62億円	60億円	61億円				65億円	直売所活性化事業	看板の設置や駐車場の整備等を行い、売上向上に繋がる支援を行った。 機能拡充事業：3件	894	農業振興課
								直売所ネットワーク会議	糸島市直売所ネットワーク会議を通じて直売所間の連携強化を図っている。また、研修会を開催し直売所のスキルアップを図った。 研修会：1回 参加人数：14人（10直売所）	-	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
地産地消を意識し、糸島産農林水産物を積極的に購入している市民の割合	73.1%	69.9%	64.1%				78.0%	-	R4市民満足度調査より ①常に意識して購入している：16.8% ②ある程度意識して購入している：47.3% ①+②=64.1%	-	農業振興課

施策（2）特産品づくりの支援や加工所・生産組織の育成推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
新たに開発した特産品数	3件	1件	0件				5件	経営革新事業者補助事業	新商品の開発や新たな販売方法の導入など、積極的に経営革新に取り組む中小企業者に「がんばる中小企業者応援補助金」を支給し応援する事業。市内農林水産物を使用する（市内の農林水産物を50%以上使用する事業）新商品開発に対して補助上限額を上げる等の優遇があるが、該当する新商品開発はありませんでした。	-	商工振興課

第6節 食育の推進

施策（1）家庭・地域における食育の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
栄養に関する情報発信（広報、ホームページ、SNSなど）の回数	5回	11回	12回				17回	栄養に関する情報発信	市民が栄養について学習できる講座を、広報いとしまや市ホームページを用いて、広く参加者を募集した。また、コミュニティセンター便りでも栄養改善に関する記事の掲載を行った。 ①広報いとしま：4回 ②コミュニティセンター便り：3回 ③ホームページ：1回 ④その他：庁舎内に健康レシピを配架：4回（年4回季節ごとに内容入れ替え） ①+②+③+④=12回	5	健康づくり課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
個別栄養指導回数	44回	58回	82回				62回	集団健診時健康相談	健診当日判明する結果が、特定保健指導、重症化予防対象に該当する人に保健指導実施。 総合健診等：46回	-	健康づくり課
								個別健康相談	特定健診結果から生活習慣の改善の必要な人に実施。 ①医師からの依頼に基づくもの：23回 ②健康相談：13回 ①+②=36回	-	健康づくり課

施策（2）小・中学校における食育の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
給食時及び総合学習等において食育等に取り組む小中学校数（農業体験含む）	22校	22校	22校				22校	学校教育における食育の推進	年間指導計画に基づく教科等における取組、食生活における自立的能力を育む取組、食材や生産者への感謝の心を育む取組、糸島産食材を活用した郷土理解の促進、食文化への理解を促進する取組などを通じて、命を育む食育を推進する。	-	学校教育課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
学校給食における糸島産農産物の使用割合（重量ベース）	37.5%	40.7%	37.1%				40.0%	学校給食における糸島産食材活用の推進	農業振興課との連携をもとに、生産者の情報を学校に適切に提供し、学校給食における糸島産食材の使用率向上を図る。	-	学校教育課

施策（3）学習・体験活動による食育の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
ドリームトレーサーにおける調理体験の実施回数	4回	0回	0回				4回	ドリームトレーサー	糸島の自然や友たちの素晴らしさ・大切さを学び、たくましい大人に育つことを願い、自然体験を中心とした様々な体験活動を実施。対象は小学4～6年生。 例年は活動の中で野外調理等を実施するが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。	-	生涯学習課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
どんぐりにおける調理体験の実施回数	4回	0回	0回				4回	糸島チャレンジクラブ「どんぐり」	異年齢の仲間が集まり、家庭や学校では、なかなか体験できない活動を通して、「生きる力」を身につけることを目的とした事業。対象は中学生・高校生。 例年は活動の中で野外調理等を実施するが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。	-	生涯学習課

施策（4）食文化の継承と国際交流の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
糸島市国際交流協会主催事業への参加者数（3事業）	310人	0人	0人				325人	カレービュッフェ 世界の料理教室 そうめん流し	糸島市国際交流協会主催事業への補助を行うことで、食文化の継承や国際交流の推進を図る。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。	-	コミュニティ推進課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
栄養に関する情報発信（広報、ホームページ、SNSなど）の回数 ※再掲	5回	11回	12回				17回	栄養に関する情報発信	市民が栄養について学習できる講座を、広報いとしまや市ホームページを用いて、広く参加者を募集した。また、コミュニティセンター便りでも栄養面改善に関する記事の掲載を行った。 ①広報いとしま：4回 ②コミュニティセンター便り：3回 ③ホームページ：1回 ④その他：庁舎内に健康レシピを配架：4回（年4回季節ごとに内容入れ替え） ①+②+③+④=12回	5	健康づくり課

第7節 グリーンツーリズムの推進及び農業公園の果たす役割

施策（1）グリーンツーリズムの推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
体験プログラム（農業関連）市内での開催回数 ※再掲	4回	12回	12回				6回	—	糸島キッズファーム事業への事業費一部補助は令和3年度で終了し、自主事業となる。 ①年間体験会9回 ②個別体験会3回 ①+②=12回	—	農業振興課
								令和4年度着地型旅行商品造成事業	体験プログラムの開催回数：0回 魅力ある着地型旅行商品となるようにスキルアップセミナーを2回実施し、約30の観光商品が完成した。（いちご定植体験、タケノコ狩り体験、田植え稲刈り体験など）令和5年度に販売を開始し、体験事業を実施予定。	1,046	ブランド政策課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
連携した取組実践件数（累計）	0件	0件	1件				10件	職業・経済体験プログラム事業「ふくおか都市圏Kidsジョブチャレンジ2022in糸島」	JA糸島・JF糸島・糸島市商工会・糸島市観光協会などと連携し、福岡都市圏内の5歳～中学3年生を対象とした、職業・経済体験プログラム事業を市内で実施した。 職業体験や、給与として支給される模擬紙幣を使った買物体験を通じて、子どもたちにキャリア教育を行うとともに、保護者等との市内周遊による観光振興、魅力ある事業所並びに産業のPRなど、地域経済の振興を図った。※職業体験例…お野菜収穫・出荷・販売の仕事など 開催日：令和4年8月27日、28日（2日間） 職業体験に参加した子どもたちの人数：1,867名（2日間）	—	企画秘書課

施策（2）糸島市農業公園「ファームパーク伊都国」を拠点とした事業の展開

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
ファームパーク伊都国の年間施設利用者数	41,588人	16,715人	17,550人				50,000人	—	新型コロナウイルス感染症対策で「収穫祭」が実施できなかったが、閉館することがなかったためR3に比べ増加している。 R3訂正 25,593人→16,715（理由：伊都国即売会来所者数で報告していた。正しくは、伊都国即売会来場者数を除く施設利用者数）	—	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
ファームパーク伊都国ホームページ閲覧数	148,458PV	22,464PV	21,540PV				180,000PV	—	「収穫祭」等のイベントが昨年に引き続き開催できなかったことから、閲覧数が減少した。	—	農業振興課

第8節 女性農業者が持つ力の発揮

施策（1）女性農業者及び女性農業組織の活動支援

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農業女性グループ等が実施する消費者との交流事業数	16事業	0事業	0事業				16事業	糸島市農業女性の会「ふた葉」への支援	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、糸島市民まつりの出店を見送り、市民との交流・食育活動を行うことができなかった。	-	農業振興課

施策（2）女性農業者の各種農業施策への参画の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市が委嘱・任命する農政関連附属機関における女性委員比率	26.7%	27.6%	21.9%				40.0%	-	農力を育む市民推進会議：6/18人（約33.3%） 農業振興地域整備促進協議会：1/14人（約7%） (6+1) ÷ (18+14) × 100 = 21.9%	-	農業振興課

施策（3）家族経営協定の締結推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市が立会人となった家族経営協定の累計締結数	82件	87件	89件				102件	-	規模拡大や経営の多角化等で、農業女性や後継者が経営に参画する農家は増えているが、協定の締結までには至らず、件数は鈍化している。今後は認定農業者、農業女性の会等で情報提供を行うなど制度の周知を図り、協定締結を促進する。 (R3) 87件+2件 = (R4) 89件	-	農業振興課

第9節 九州大学を始めとする産・学・官の連携

施策（1）連携協定締結大学等との事業の展開

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
「アグリコラボいとしま」の会員数	80人	100人	103人				100人	糸島農業産学官連携推進協議会	アグリコラボいとしまにおいて、農業に関する講演・パネルディスカッション、ワークショップ、視察（農家4か所訪問）実施。糸島地域の農業者、九州大学、農業関係機関が集まり情報交換を行っている。参加した方が会員登録をされたため、会員数が増加した。 講演・パネルディスカッション：1回 参加人数：76人 ワークショップ：2回 参加人数：①69人 ②46人 視察：1回 参加人数：27人	-	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
生産現場と研究シーズのマッチング件数（累計）	0件	7件	4件				20件	糸島農業計画会議・広域連携プロジェクト	糸島農業計画会議各班（普通作、女性・青年支援、産学官連携プロジェクト）及び県・市の共同事業「広域連携プロジェクト」において、九州大学と連携した活動を実施した。	313	農業振興課

施策（2）特産品等調査研究事業の実施

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
新たに開発した特産品数 ※再掲	3件	1件	0件				5件	経営革新事業者補助事業	新商品の開発や新たな販売方法の導入など、積極的に経営革新に取り組む中小企業者に「がんばる中小企業者応援補助金」を支給し応援する事業。市内農林水産物を使用する（市内の農林水産物を50%以上使用する事業）新商品開発に対して補助上限額を上げる等の優遇があるが、該当する新商品開発はありませんでした。	-	商工振興課

第10節 農力を育み、発揮する取組の情報発信

施策（1）農力への理解を進める情報の発信

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市ホームページ農業関連ページ閲覧数	44,778PV	48,663PV	40,889PV				54,000PV	-	鳥インフルエンザ発生関連や市民農園、市内直売所に関するページが農業関連では上位となっている。	-	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
ふるさと応援寄附返礼品サイトに参加する直売所数	6直売所	7直売所	7直売所				15直売所	直売所ネットワーク総会	直売所ネットワーク会議の総会で、ふるさと納税への参加を進めるが、登録件数は伸びなかった。市内直売所でのふるさと応援寄附を利用した寄附額は令和3年度94,785千円だったが、令和4年度102,420千円と1.8倍の増加となった。今後も活用に向けた周知を図っていく。 登録直売所：7/18直売所	-	農業振興課